



兵庫県社会福祉法人経営者協議会

# 令和3年度事業報告



みんなの「生きる」を  
社会福祉法人



## 全体総括



令和3年度も新型コロナウイルス感染症による影響が続く中、コロナ禍での福祉職員の奮闘は、国民生活を守るうえで欠かすことができない業務として社会的認知を得たところである。一方で、国においては、社会福祉法人の事業譲渡や合併などの議論が続き、令和4年度からは社会福祉連携推進法人制度も施行されるなど、厳しい経営環境の中で、より一層個々の法人の経営努力が求められている。

兵庫県経営協としては、会員が社会福祉法人として求められる社会的責任を果たし、地域における福祉の充実・発展を目指して、その経営基盤の強化と福祉サービスの質の向上に向けた取り組みを行えるよう、調査研究や研修会など様々な事業を展開してきたところである。

以下のとおり、令和3年度に実施した事業及び活動について重点目標に沿って報告する。

## 重点目標



A

会員法人の経営力向上への支援を行う

B

地域共生社会の実現に向けた  
社会福祉法人の取組みを強化する

C

人材確保や災害支援体制の整備など  
法人を取り巻く課題に向けた支援をする

D

経営協の組織・経営基盤の強化を図る

### A

## 会員法人の経営力向上への支援を行う

- 今年度は**経営強化検討委員会**において「**財務**」をテーマに検討を重ね、「財務編」の報告書を発行した。  
この報告書に基づき研修会やセミナーなど様々な機会を通じて普及を図った。
- 次年度は、同検討委員会において「**ガバナンス**」をテーマに法人内の内部牽制体制の在り方についての研究を進め、事業の展開を図っていく。

## 重点目標

### A 会員法人の経営力向上への支援を行う

## 1. 社会福祉法人経営強化検討委員会の開催

- 第5回 令和3年4月8日（参加者:15名）
  - (1)厚生労働省設置の検討委員会について
  - (2)中間報告書(案)について
- 第6回 令和3年7月8日（参加者:21名）
  - (1)県経営協会員へのアンケート調査結果の分析について
  - (2)今後の進め方について
- 第7回 令和3年10月7日（参加者:16名）
  - (1)委員等からの意見を踏まえた報告書(案)について
  - (2)令和3年度10月例会について
  - (3)今後の検討委員会について
- 第8回 令和4年1月13日（参加者:18名）
  - (1)『ガバナンス編』の検討における課題共有について
  - (2)アンケートの実施について
  - (3)所轄庁との意見交換会の進め方について



## 重点目標

### A 会員法人の経営力向上への支援を行う

## 2. 「財務編」報告書の発行

上記の「社会福祉法人経営強化検討委員会」において  
県内法人へのアンケートの実施やその結果に基づく協議を重ね、  
各法人が自ら経営悪化状態に早期発見・早期対応できる指針としてまとめ、  
さらに、所轄庁などと協働し取り組んでいくべき方向性について  
提言する内容を報告書としてまとめた。

発行:令和3年10月

送付先:会員法人、全国及び各都道府県経営協

## 重点目標

**A** 会員法人の経営力向上への支援を行う

### 3. 10月例会の開催

#### 「早期対応が導く社会福祉法人の経営強化とは

～経営強化検討委員会 社会福祉法人の適正な法人経営に向けて「財務編」中間報告書から～」

開催日 : 令和3年10月21日 / 会場: オンライン  
参加者 : 100名

#### 基調講演

『経営指導強化等に関する調査研究事業の事業報告書が示す  
経営分析の意義と法人の経営の在り方について』

[講師] 昭和女子大学 グローバルビジネス学部 会計ファイナンス学科 教授 井出 健二郎 氏

#### 基調報告

『兵庫県における経営強化検討委員会での議論や整理すべきポイントとは』

登壇者: 兵庫県経営協 経営強化検討委員会委員

[コメンテーター]

公認会計士 坂井 浩史 氏 / 弁護士 中井 俊輔 氏 / 社会保険労務士 関川 京子 氏

[アドバイザー] 昭和女子大学 井出 健二郎 氏

[進行] 兵庫県経営協 谷村 誠

#### 実践発表・ パネルディ スカッション

『実際に取り組んだ法人の実践から学ぶ経営改善の実態とは』

[登壇者] 経営強化検討委員会委員(公認会計士) 坂井 浩史 氏

社会福祉法人三翠会 理事長 田崎 幹雄 氏 ・ 専務理事 上西 真一 氏

## 重点目標

### A 会員法人の経営力向上への支援を行う

## 4. 青年協議会定例研修会の開催

基本的な財務分析の手法を学ぶとともに、経営環境が大きく変化していく中でも、リスク回避だけでなく、法人前向きな将来ビジョンを描ききっかけとなるよう、「財務編」の報告書やスコアカードによる分析方法を学ぶために開催した。

開催日 : 令和3年12月1日

会場 : 神戸市教育会館 + オンライン

参加者 : 76名

#### 基調報告

### 『社会福祉法人を取り巻く環境及び全国での動向について』

全国社会福祉法人経営青年会 会長

兵庫県社会福祉法人経営者協議会・青年協議会 代表 梅野 高明

#### 基調講義

### 『財務分析の基本を学ぶ～明るい将来ビジョンを描くために～』

〔講師〕RSM清和監査法人 神戸事務所長 坂井 浩史 氏

〔報告者〕社会福祉法人みかり会 谷村 界飛 氏



## 重点目標

**A** 会員法人の経営力向上への支援を行う

### 5. 理事長のための経営講座の開催

「社会福祉法人の会計と内部統制のポイント」をテーマに、  
会計と内部統制についてより一層の理解を深めるために、  
日本公認会計士協会兵庫会と共催した。

開催日 : 令和4年1月24日

会場 : オンライン

参加者 : 74名

#### 講義

##### テーマ①「行政報告」

[講師] 兵庫県健康福祉部社会福祉局 社会福祉課法人指導室長 北 茂正 氏

##### テーマ②「社会福祉法人の会計と内部統制のポイント」

[講師] 日本公認会計士協会 非営利法人委員会社会福祉法人専門委員会  
専門委員 公認会計士 山上 友一郎 氏

## 重点目標

### A 会員法人の経営力向上への支援を行う

## 6. 社会福祉法人経営に関する意見交換会の開催

### 「兵庫県における社会福祉法人の指導監査状況」

をテーマに、兵庫県、神戸市、姫路市、明石市の行政担当者と意見交換会を開催し、法人経営上の課題共有を図った。

さらに、10月に発行した「財務編」報告書について説明し、法人がおかれている経営課題について共有するとともに連携強化を推進した。

開催日 : 令和4年1月13日

会場 : 神戸メリケンパークオリエンタルホテル

参加者 : 23名(うち行政関係者6名)

## 重点目標

### A 会員法人の経営力向上への支援を行う

## 7. 経営計画の策定支援(県社協との協働事業)

平成29年度に県社協と協働で作成した「社会福祉法人経営計画策定ワークブック」を会員法人に配布し、同ワークブックを活用し、経営計画の策定支援を行った。

### 1) 経営計画策定リーダー養成ゼミナール（全5回）

社会福祉法人の経営計画の策定支援を行うリーダー養成のために開催した。

〔講師〕

兵庫県立大学 社会科学研究科 経営専門職専攻 教授 當間 克雄 氏

日程

- 7月29日（第1回）
- 8月26日（第2回）
- 9月17日（第3回）
- 10月29日(第4回)
- 12月17日(第5回)

参加者:10法人33名

## 重点目標

### A 会員法人の経営力向上への支援を行う

## 7. 経営計画の策定支援(県社協との協働事業)

### 2) 経営計画策定セミナー

#### 「実行性の高い経営計画策定のポイント

～一人ひとりが法人として将来あるべき姿を考える～

をテーマに、経営計画策定の基本と効果、法人の将来ビジョン実現のための取り組みについて学ぶことを目的に開催した。

開催日 : 令和4年2月24日 / 会場: オンライン  
参加者 : 18名

#### 講演

#### 「経営計画(中期計画)策定の意義と実行性を高めるためのポイントについて」

〔講師〕 兵庫県立大学 社会科学部 経営専門職専攻 教授 當間 克雄 氏

#### 実践報告

#### 「経営計画策定ワークブックを活用した経営計画策定経緯と 実際の取り組みについて」

〔報告者〕 社会福祉法人愛育会 田中 ちず子 氏  
社会福祉法人宝塚さざんか福祉会 前川 麻由美 氏  
松永 仁美 氏  
山川 温子 氏

〔解説・コーディネーター〕 兵庫県立大学 社会科学部 経営専門職専攻 教授 當間 克雄 氏

## 重点目標

### A 会員法人の経営力向上への支援を行う

## 8. 社会福祉事業経営相談事業への運営協力 (兵庫県社協との協働事業)

多様な経営課題の解決に向け、  
県社協の社会福祉事業経営相談事業の運営に協力した。

相談員 :1名(週3回)

専門相談員:公認会計士 前原 啓二 氏(月1回)

相談件数 :336件

### B

## 地域共生社会の実現に向けた 社会福祉法人の取組みを強化する

- 県内37市区町で整備されている社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット)において、地域の実情に合わせた様々な事業が展開される中、コロナ禍でも活動を継続する方策等について情報交換を実施するとともに、具体的な活動の一例として災害支援をテーマにセミナーを開催した。
- また、課題を抱える妊産婦等の就労等の支援について、兵庫県と協定を結び、制度の狭間に向けた対応を進めた。
- 次年度も引き続きほっとかへんネットを核とした地域の実情に合わせた多様な活動が展開されるよう、その取組みを推進するとともに、災害支援体制の整備に向けた取組みを県・県社協と協働して進めていく。

## 重点目標

### B 地域共生社会の実現に向けた社会福祉法人の取組みを強化する

#### 1. 地域公益活動の推進

県社協と協働設置した「社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会」や地域公益活動推進セミナーを開催し、「社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット)」の全県的な設置促進及び「地域における公益的な取組」の推進を支援した。

#### 1) 社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会の開催

##### 第1回 令和3年8月2日(参加者:64名)

###### 情勢報告

「各ほっとかへんネットの取組状況について」

###### 情報交換

「各地の災害時の取組みに向けた動きについて」

「各地の今年度のほっとかへんネットの取組みについて」

〔コメンテーター〕

Office SONOZAKI 代表 園崎 秀治 氏

〔進行〕 兵庫県社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会 代表 澤村 安由里

##### 第2回 令和4年3月14日(参加者:72名)

###### 情報交換

「各地区の活動状況について」「活動状況別に分かれてのグループワーク」

〔アドバイザー〕 武庫川女子大学文学部 心理・社会福祉学科 教授 松端 克文 氏

社会福祉法人 愛児会

井塚 啓文

社会福祉法人神戸福生会

大和田 順

〔進行〕 兵庫県社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会

代表 澤村 安由里



## 重点目標

### B 地域共生社会の実現に向けた社会福祉法人の取組みを強化する

#### 1. 地域公益活動の推進

#### 2) 地域公益活動推進セミナー(代表者等連絡会(拡大版)のプログラムの一部として開催)

社会福祉法人連絡協議会の活動を活かした災害支援体制の整備をテーマに開催した。  
(兵庫県社協との共催)

開催日 : 令和3年8月2日

会場 : オンライン

参加者 : 111名

#### 基調講義

「ほっとかへんネットの活動を活かした災害支援体制の整備について」

〔講師〕 Office SONOZAKI 代表 園崎 秀治 氏

#### 基調説明

「全国におけるDWATの整備・活動状況について」

〔講師〕 全国社会福祉法人経営者協議会 副会長 谷村 誠

#### 行政説明

「兵庫県におけるDWATの体制整備について」

〔講師〕 兵庫県健康福祉部社会福祉局地域福祉課 課長 野田 誠一 氏



## 重点目標

### B 地域共生社会の実現に向けた社会福祉法人の取組みを強化する

#### 1. 地域公益活動の推進

##### 3) 社会福祉法人連絡協議会の設立支援

県社協と連携し立ち上げを検討している市町に対し、勉強会や研修会など立ち上げに向けた支援を行った。

##### 4) 助成金による設立・活動支援について(県社協との協働事業)

- 「社会福祉法人連絡協議会」設立支援事業による助成金  
4市町が設立準備中 ※今年度は利用申請なし
- 「社会福祉法人連絡協議会」活動支援事業による助成金  
7件 合計 210,000円

## 重点目標

### B 地域共生社会の実現に向けた社会福祉法人の取組みを強化する

## 2. 制度の狭間に対する対応

### 1) 課題を抱える妊産婦等の就労等支援に係る 兵庫県と兵庫県経営協との協定の締結

課題を抱える妊産婦等の自立に向け、就労先として社会福祉施設を確保し、こうした課題に対し就労や生活課題への支援に連携して取り組むことに関する協定を締結した。

締結日：令和4年3月11日



### C

## 人材確保や災害支援体制の整備など 法人を取り巻く課題に向けた支援をする

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によってもたらされた様々な弊害は、いかなる場面でも福祉サービスを継続的に提供する必要性を一層明らかにすると同時に、人材不足、処遇の問題など常態化する課題を改めて示す形となった。これを受け福祉職員の処遇改善措置も講じられているが、経営協としては、恒常的な処遇改善に向け公定価格の引上げを引き続き要望していく。
- 令和3年度は、多発する大規模災害に対する備えとして、平時から法人間で支え合う仕組みづくりや福祉避難所、DWATといった福祉支援体制の構築や、ICT等のテクノロジーの活用も含めた生産性向上など、社会福祉法人を取り巻く課題に対し研修会やセミナーを通じて情報提供を行った。
- 次年度も引き続き、人材確保という眼下の最大の課題に向け対応を進めるとともに、生産性向上など経営基盤の強化に向けた取組みについて先進的取組みについて発信を行う。

## 重点目標

**C** 人材確保や災害支援体制の整備など法人を取り巻く課題に向けた支援をする

### 1. 「都道府県経営協セミナー」の開催(全国経営協と共催)

#### 1) 都道府県経営協セミナー(前期) / 7月例会

社会福祉法人を取り巻く情勢について、  
「2025アクションプラン」「社会福祉連携推進法人」  
「経営分析・経営強化」「新型コロナウイルス関連」  
をキーワードに解説

開催日 : 令和3年7月21日 / 会場 : オンライン  
参加者 : 74名

#### 情勢説明

「社会福祉法人を取り巻く情勢について」

〔講師〕 全国経営協 制度・政策委員会 委員長 宮田 裕司 氏

#### 案内

- ① CS神戸 生きがいしごとサポートセンターより事業内容のご案内
- ② 兵庫県社会福祉人材研修センターより研修等のご案内

#### その他

トヨタレンタリース兵庫寄贈車輜抽選会

## 重点目標

**C** 人材確保や災害支援体制の整備など法人を取り巻く課題に向けた支援をする

### 3. 人材確保・定着に向けた支援

#### 1) 福祉の就職総合フェアの共催

福祉人材の確保・定着に向けて、福祉の就職総合フェアを兵庫県社協と共催した。

第  
1  
回

- ・ 開催日 令和3年7月10日
- ・ 出展法人 110法人
- ・ 参加者数 307名

第  
2  
回

- ・ 開催日 令和4年3月5日
- ・ 出展法人 140法人
- ・ 参加者数 370名

#### 2) 青年協による魅力発信コーナーの運営

第1回福祉の就職総合フェアにおいて、最新の福祉機器の展示及び専門職によるケアの実演を行うとともに、社会福祉法人の若手管理職や専門職によるトークショーを通じて、福祉・介護の仕事の魅力を発信した。



## 重点目標

**C** 人材確保や災害支援体制の整備など法人を取り巻く課題に向けた支援をする

### 3. 人材確保・定着に向けた支援

#### 3) 社会福祉研修委員会への参画

兵庫県社協 社会福祉人材研修センターが実施する  
社会福祉研修委員会に参画し、福祉人材の育成に協力した。



## 重点目標

**C** 人材確保や災害支援体制の整備など法人を取り巻く課題に向けた支援をする

### 4. 災害支援体制の整備に向けた支援

#### 1) 兵庫県DWATの整備に向けた取り組み

全国的に整備が進められる**災害派遣福祉チーム(DWAT)**について、兵庫県では市町域を単位として身近な範囲における相互支援を基盤としてその支援体制を整備していく方針を掲げ、**社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット)**による展開を進めていくこととなった。

経営協では県・県社協と協力してその推進を図るため、地域公益活動推進セミナー等において兵庫県から情勢説明を行うなど、会員法人等への情報提供を進めてきた。

令和3年度は、南あわじ市社会福祉法人連絡協議会(ほっとへんネット南あわじ)の協力を得て、福祉施設職員等36名の登録が行われ、**兵庫DWAT**が立ち上がった。

### D

## 経営協の組織・経営基盤の強化を図る

- 組織基盤の強化を図るため、入会案内のパンフレットの配布等を行うとともに、種別協と連携した加入勧奨を行い、会員拡大を行った。  
また、全国経営協と協働しモニター会員を募り、エビデンスに基づいた迅速な要望活動も行った。
- また、今年度は**全国社会福祉法人経営者大会(兵庫大会)**をオンラインで開催し、兵庫県からはほっとかへんネットの法人同士の連携による取組みを発信した。



## 重点目標

### D 経営協の組織・経営基盤の強化を図る

#### 1. 会員の拡大

##### 1) 新規会員の加入促進

入会案内のパンフレットの配布や例会等での加入勧奨を行った。

○入会：4法人

##### 2) 青年協議会会員の加入促進

入会案内のパンフレットの配布や例会等での加入勧奨を行った。

○入会：8名

##### 3) 会員法人への支援

新型コロナウイルス感染症が発生した法人に対し、災害見舞金制度を準用し、緊急見舞金を贈るとともに、当該年度の会費を免除することで法人支援を行った。

○災害見舞金利用法人：19法人

## 重点目標

### D 経営協の組織・経営基盤の強化を図る

## 2. 制度・情勢に関する情報活動

会員法人の経営基盤強化のため、社会福祉制度動向等をタイムリーに情報提供するとともに、本会の活動・事業について積極的に発信した。

### 1) 月刊「経営協」の配布

全国経営協発行の月刊「経営協」を会員に配布した。(全国経営協より会員へ直送)

### 2) 「経営協情報」のメール配信

社協が実施する各種研修や助成金等に関する情報を会員にメール配信した。  
また、全国 経営協が随時作成する「経営協情報」を会員にメール配信した。

## 重点目標

### D 経営協の組織・経営基盤の強化を図る

## 3. 要望活動

会員法人の経営基盤強化のため、社会福祉制度動向等をタイムリーに情報提供するとともに、本会の活動・事業について積極的に発信した。

### 1) 兵庫県への政策提言活動

県内の社会福祉法人に共通する経営課題への対応として、兵庫県への政策提言内容を理事会にて協議し、県社協の「社会福祉政策委員会」と連携し、提言活動を行った。

#### 提言内容

- (1) 新型コロナウイルス感染症への対応
- (2) 福祉人材確保施策のさらなる推進
- (3) 社会福祉法人の経営基盤強化に向けた支援体制の構築
- (4) 災害等に備えた災害支援体制づくりの構築
- (5) 社会福祉施設における生産性向上に向けた支援の充実

## 重点目標

### D 経営協の組織・経営基盤の強化を図る

#### 4. 組織運営

県内の社会福祉法人の経営基盤を強化するため、会員拡大に努めるとともに、総会・理事会・例会等の開催を通じて、本会の円滑な運営を図った。

##### 1) 第41回総会・記念講演会の開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、オンラインで開催した。  
会員法人350法人中247法人より同意の意思表示を得て、以下の議案が承認された。

開催日：令和3年5月13日

開催方法：オンライン開催

出席者：50法人

表決書：63法人

委任状：134法人

計：247法人

##### 総会

<議事> [第1号議案] 令和2年度事業報告(案)・決算(案)  
[監査報告]

[第2号議案] 令和3年度事業計画(案)・予算(案)

[第3号議案] 役員を選任について

<その他> 青年協議会活動報告

##### 記念講演会

「ホテル旅館の再生で学んだこと、そしてアフターコロナの新展開」

〔講師〕株式会社ホテルニューアワジ 代表取締役社長 木下 学 氏

## 重点目標

### D 経営協の組織・経営基盤の強化を図る

## 4. 組織運営

### 2) 理事会の開催

#### ●第259回理事会 令和3年4月22日

(会場:オンライン開催 参加者:11名)

- <議事内容>
- (1)令和2年度事業報告(案)・決算(案)について
  - (2)令和3年度事業計画(案)・予算(案)について
  - (3)次期役員改選について
  - (4)第41回総会について
  - (5)令和4年度兵庫県社会福祉政策の提言について
  - (6)第40回全国社会福祉法人経営者大会について

#### ●第260回臨時理事会 令和3年5月13日

(会場:神戸メリケンパークオリエンタルホテル 参加者:14名)

- <議事内容>
- (1)会長及び副会長の選任について

## 重点目標

### D 経営協の組織・経営基盤の強化を図る

#### 2) 理事会の開催

- 第261回理事会 令和3年7月21日  
(会場:神戸メリケンパークオリエンタルホテル+オンライン 参加者:13名)  
<議事内容> (1)第40回全国社会福祉法人経営者大会について  
(2)令和3年度「10月例会」について  
(3)令和3年度「法人経営トップセミナー」について
- 第262回理事会 令和3年10月21日  
(会場:神戸メリケンパークオリエンタルホテル 参加者:15名)  
<議事内容> (1)令和3年度トップセミナーについて  
(2)令和3年度社会福祉法人経営に関する意見交換会について  
(3)令和4年度役員会等の日程について
- 第263回臨時理事会 令和3年12月20日  
(会場:神戸メリケンパークオリエンタルホテル+オンライン 参加者:14名)  
<議事内容> (1)兵庫県からの提案事項「課題を抱える妊産婦等への就労等支援」について

## 重点目標

### D 経営協の組織・経営基盤の強化を図る

#### 2) 理事会の開催

- 第264回理事会 令和4年1月28日

(会場:オンライン開催 参加者:14名)

<議事内容> (1)令和3年度事業の振り返りと令和4年度における重点・新規事業について  
(2)令和4年度近畿ブロックセミナー開催に係る登壇候補者の選定について

- 第265回臨時理事会 令和4年3月18日

(会場:オンライン開催 参加者:13名)

<議事内容> (1)監事の選任について

## 重点目標

### D 経営協の組織・経営基盤の強化を図る

## 4. 組織運営

### 3) 正副会長会議の開催

- 第1回 令和3年4月8日
- 第2回 令和3年7月8日
- 第3回 令和3年10月7日
- 第4回 令和4年1月13日
- 第5回(臨時) 令和4年3月11日

### 4) 監事監査の実施

監事により令和2年度事業報告・決算について監査を実施した。(令和3年4月20日)



## 重点目標

### D 経営協の組織・経営基盤の強化を図る

## 4. 組織運営

### 5) 全国経営協との連携協力

全国経営協主催のブロック会議(近畿)に参画し、会員法人の経営課題や本会の問題意識について意見交換を行った。

- 開催日 : 令和3年7月13日
- 開催方法: オンライン開催
- 参加者 : 役員5名

## 重点目標

### D 経営協の組織・経営基盤の強化を図る

## 4. 組織運営

### 6) 近畿経営協との連携協力

近畿社会福祉法人経営者協議会役員会・協議員総会等の会議に出席し、近畿社会福祉法人経営者協議会の運営に協力した。

#### 役員会

- 第1回 4月14日
- 第2回 7月15日
- 第3回 10月12日
- 第4回 11月 9日
- 第5回 12月14日
- 第6回 1月25日
- 第7回 2月10日

近畿経営協研修会を同時開催

#### 協議員総会

- 第1回 7月15日
- 第2回 2月10日

近畿ブロックセミナーを同時開催

近畿ブロックセミナーを同時開催

## 重点目標

### D 経営協の組織・経営基盤の強化を図る

## 5. 第40回全国社会福祉法人経営者大会(兵庫大会)の開催

コロナ禍の分断を乗り越え、地域社会を守り抜くために  
－社会福祉事業70年の継承と新しい福祉の創造

開催日 : 令和3年9月2日 / 会場 : オンライン  
参加者 : 1011名 (うち、兵庫県からの参加者89名)

### 開会式

#### 開会のことば

兵庫県社会福祉法人経営者協議会 会長 谷村 誠

#### 主催者挨拶

全国社会福祉法人経営者協議会 会長 磯 彰格 氏  
全国社会福祉協議会 会長 清家 篤 氏 ※  
兵庫県社会福祉協議会 会長 吉本 知之 氏 ※

#### 来賓挨拶

厚生労働大臣 田村 憲久 氏 ※  
兵庫県知事 齋藤 元彦 氏 ※  
神戸市長 久元 喜造 氏 ※

※ビデオメッセージ ▶ 次ページに続く

## 重点目標

### D 経営協の組織・経営基盤の強化を図る

## 5. 第40回全国社会福祉法人経営者大会(兵庫大会)の開催

#### 基調講演

### 「社会福祉法人をめぐる動向と全国経営協の取り組み」

〔講師〕 全国社会福祉法人経営者協議会 会長 磯 彰格 氏

#### 特別講演

### 「人を育てる～多様な人材が活躍する」

〔講師〕 吉本総合芸能学院NSC講師 本多 正識 氏

#### 記念講演

### 「ウイズコロナ時代の経営者に求められる視点 ～論語と算盤とSDGs」

〔講師〕 渋沢栄一記念財団業務執行理事  
日本ファンドレイジング協会理事 渋澤 健 氏

#### シンポジウム

### 「ポストコロナ社会を見据えた社会福祉法人経営 ～地域社会を守り抜くために」

野澤 和弘 氏 (植草学園大学 副学長)

澤村 安由里 氏 (兵庫県社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会代表)

久木元 司 氏 (全国社会福祉法人経営者協議会 経営強化委員長)

宮田 裕司 氏 (全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員長)

令和3年度兵庫県社会福祉法人経営者協議会 決算

収入	33,969,049 円
支出	31,489,824 円
収支	2,479,225 円 (次年度繰越金)

<収入の部>

(単位：円)

科	目	予算額 (a)	決算額 (b)	比較増減 (b)-(a)	備考
1	会費 (1) 会費	24,400,000	23,920,000	△ 480,000	322法人+県のみ9法人+免除19法人 計350法人 ・大規模 (10億円超) 110,000円 × 77法人 ・一般 (2~10億円) 70,000円 × 190法人 ・小規模 (2億円未満) 35,000円 × 55法人 ・県のみ 25,000円 × 9法人
2	交付金 (1) 交付金	6,831,000	5,474,000	△ 1,357,000	全国経営協からの組織活動費 @17,000円×322法人
3	事業収入 (1) 参加費収入	400,000	70,000	△ 330,000	セミナー等非会員参加費
4	助成金収入 (1) 助成金収入	200,000	0	△ 200,000	
5	雑収入 (1) 雑収入	3,000	22,098	19,098	預金利息等
6	繰越金 (1) 前年度繰越金	4,482,000	4,482,951	951	
合 計		36,316,000	33,969,049	△ 2,346,951	

<支出の部>

(単位：円)

科	目	予算額 (a)	決算額 (b)	比較増減 (b)-(a)	備考 (当初予算との主な増減要因等)
1	運営費	4,700,000	4,757,747	57,747	
	(1) 事務費	500,000	630,719	130,719	パソコンリース代、郵便代、印刷機使用代等
	(2) 事務局運営費	4,100,000	4,100,000	0	事務局運営負担金 正規職員1/2+嘱託職員1名分
	(3) 連絡調整費	100,000	27,028	△ 72,972	慶弔費等
2	事業費	7,795,000	5,982,077	△ 1,812,923	
	(1) 会議費	4,040,000	2,467,466	△ 1,572,534	総会、理事会、正副会長会議、例会等の開催経費
	(2) 研修費	1,000,000	963,715	△ 36,285	法人経営トップセミナー、都道府県セミナーの開催経費
	(3) 調査研究費	1,255,000	1,141,447	△ 113,553	経営強化検討委員会、行政との意見交換会の開催経費
	(4) 法人活動支援費	1,200,000	1,109,449	△ 90,551	情報発信、ホームページの運用等
	(5) 青年協活動費	300,000	300,000	0	青年協活動助成
3	分担金 (1) 全国経営協分担金	21,190,000	20,750,000	△ 440,000	322法人 ・大規模 (10億円超) 100,000円 × 77法人 ・一般 (2~10億円) 60,000円 × 190法人 ・小規模 (2億円未満) 30,000円 × 55法人
4	予備費 (1) 予備費	2,631,000	0	△ 2,631,000	
合 計		36,316,000	31,489,824	△ 4,826,176	

### 貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債・純財産の部	
科目	金額	科目	金額 (円)
預金	5,522,689	未払金	43,464
未収金	0	預り金	0
		財政調整積立金	3,000,000
		繰越金	2,479,225
合計	5,522,689	合計	5,522,689

### 財産目録

令和4年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債・純財産の部	
科目	金額	科目	金額 (円)
預金	5,522,689	未払金	43,464
但馬銀行普通預金 (上筒井支店)	2,522,689	預り金	0
但馬銀行定期預金 (上筒井支店)	3,000,000		
未収金	0	負債合計	43,464
資産合計	5,522,689	正味財産	5,479,225

### 未収金明細書

令和4年3月31日現在

(単位：円)

相手先	金額	内訳
-	0	
計	0	

### 未払金明細書

令和4年3月31日現在

(単位：円)

相手先	金額	内訳
日本郵便(株)	38,758	令和3年3月後納郵便料
リコー(株)	990	3月分Microsoft 365利用料
兵庫県社会福祉協議会	3,716	令和3年10月～令和4年3月 車両維持管理経費
計	43,464	

### 預り金明細書

令和4年3月31日現在

(単位：円)

相手先	金額	内訳
-	0	
計	0	